

中小企業景況調査報告書

2022年度第2・四半期（7～9月）



目 次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移 前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表(98社)	5
景況の推移業種別集計表 前期比	6
「直面している経営上の問題点」の集計表(業種別上位3位)	7
「直面している経営上の問題点」の集計表(各業種)	8~10
前年同期比のグラフ(各項目)	11~14

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施
(方 法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 98事業所
- V. 調査対象企業
の業種 次の表のとおり

景況調査対象事業所（98）の内訳

業 種	事業所数
建設業	11
製造業	34
卸売業	10
小売業	16
サービス業	27
合 計	98

- VI. その他の分析
1. 設備投資 実施状況数
2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算
- | |
|---------|
| 1位3ポイント |
| 2位2ポイント |
| 3位1ポイント |

今 期 の 概 況

業況はほぼ横ばいも、原材料高に伴い採算悪化。
先行きも厳しい見通し

1. 前年同期比D I 値の分析

今期(表1参照)は、業況のDI値で前期実績を上回り、売上、採算、資金繰り、従業員のDI値で前期実績を下回った。

来期は、採算、資金繰り、従業員のDI値で今期実績を上回り、業況、売上のDI値で今期実績を下回る見通し。

指標別の状況

- 業況DI値は、前期実績▲14.0から▲13.3(0.7ポイント増)となり、来期は▲14.3(1.0ポイント減)となる見通し。
- 売上DI値は、前期実績21.0から0.0(21.0ポイント減)となり、来期は▲3.1(3.1ポイント減)となる見通し。
- 採算DI値は、前期実績▲30.0から▲42.9(12.9ポイント減)となり、来期は▲38.8(4.1ポイント増)となる見通し。
- 資金繰りDI値は、前期実績▲13.0から▲17.3(4.3ポイント減)となり、来期は▲12.2(5.1ポイント増)となる見通し。
- 従業員DI値は、前期実績▲6.0から▲13.3(7.3ポイント減)となり、来期は▲6.1(7.2ポイント増)となる見通し。

2. 前期比D I 値の分析

今期(表4、5参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI値で前期実績を下回った。

指標別の状況

- 業況DI値は、前期実績▲18.0から▲21.4(3.4ポイント減)となった。
- 売上DI値は、前期実績13.0から▲13.3(26.3ポイント減)となった。
- 資金繰りDI値は、前期実績▲9.0から▲14.3(5.3ポイント減)となった。

3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(32件、27事業所)に比べ、件数、事業所数ともに減少している。

- ① 今期の実績(表3参照)は30件(25事業所)。その主な内訳は、『生産設備』10件、『車両・運搬具』6件、『工場建物』5件となっている。
- ② 来期の計画(表3参照)は38件(25事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』11件、『工場建物』『OA機器』各7件、『土地』5件となっている。

4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表6参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『仕入等単価の上昇』、『人件費の増加』、『需要の停滞』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A社（繊維製造業〈織物製造〉）

ウールなど原材料の輸入価格高騰が少し落ち着いたところへ円安となり、繊維原料に留まらず、ガス、電気、石油が値上がり経営環境を悪化させている。夏場になり百貨店はじめ衣料販売店にお客様が戻ってきている中、小売価格が上がれば、海外(生地)の安価な繊維製品へと流れていく。

B社（繊維製造業〈織物染色業〉）

円安が進み、更なる原糸価格の上昇で、当社の取扱素材が毛100%から、毛50%、ポリエステルなど化学繊維50%へと変化したことで作業工程が増え利益率が悪化したため、今年2月に加工賃値上げを実施した。尾州毛織産地の得意とする毛100%が減り合織生地への移行が進めば尾州織物の価値は下がっていくことが懸念される。

C社（建設業〈屋根・外装工事〉）

業界は多面にわたる物価上昇により、お客様の高額出費となる新築、住宅リフォームは減少すると予測。また、自社に於いては、元請となる工事は建築資材等の高騰・流通難により受注価格転嫁が可能であるが、下請け受注工事については、工事代金等は据え置かれたままである。

D社（小売業〈家具小売〉）

家具の場合、国内メーカーであっても原材料は殆どが輸入の為、円安の影響は大きく商品価格に反映され平均で20～30%上昇した。この業界はこれまで新型コロナウイルス感染症の影響はなく、むしろ規制が出た方が売り上げは増加する傾向があったが、この物価上昇で、減少に転じる可能性がある。

E社（サービス業〈ビル総合管理業〉）

毎年上昇する最低賃金に対し、値上げが殆ど行えない期間が長く続き限界となってきた。経費削減に努めているが、契約企業の業績悪化による解約が複数発生し売上が減少しており値上げをせざるを得ない。今後は新規受注、付帯業務の受注に注力していく。

F社（サービス業〈調剤薬局〉）

新型コロナウイルス感染拡大が起きて以降、医薬品の供給不安があり、実際に品切れする薬剤が続出し現場に支障が生じている。こうした中、国による調剤報酬の引き下げや、コロナ禍、そして間接的であるが物価高により受診抑制により業績が左右される。

G社（サービス業〈エステサロン〉）

7、8月はコロナ感染や濃厚接触者などで予約のキャンセルが多かったため、客数の減少が大きかった。マスクを取るフェイシャルの施術は感染拡大が起こる度に客数が減るが、感染者数が減少するに比例して自然に回復する見込み。

景況の推移

表 1

～ 前年同期比～

	R3. 7～9月	R3. 10～12月	R4. 1～3月	R4. 4～6月	今 期 R4. 7～9月	来期の見通し R4. 7～9月
業 況	▲17.0	▲13.1	▲22.0	▲14.0	▲13.3	▲14.3
売 上	▲14.0	▲ 7.1	▲ 6.0	21.0	0.0	▲ 3.1
採 算	▲18.0	▲24.2	▲38.0	▲30.0	▲42.9	▲38.8
資金繰り	▲17.0	▲13.1	▲15.0	▲13.0	▲17.3	▲12.2
従 業 員	▲ 9.0	▲10.1	▲ 8.0	▲ 6.0	▲13.3	▲ 6.1

業種別集計表 ～ 前年同期比 ～

表 2

	事業所数	11	34	10	16	27	98	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	2 (2)	11 (9)	1 (1)	2 (1)	5 (3)	21 (16)	▲ 13.3 (▲14.3)
	不変	5 (7)	14 (17)	8 (8)	7 (8)	9 (12)	43 (52)	
	悪化	4 (2)	9 (8)	1 (1)	7 (7)	13 (12)	34 (30)	
売上	増加	2 (3)	18 (13)	5 (2)	3 (3)	5 (6)	33 (27)	0.0 (▲3.1)
	不変	5 (4)	10 (14)	3 (7)	6 (6)	8 (10)	32 (41)	
	減少	4 (4)	6 (7)	2 (1)	7 (7)	14 (11)	33 (30)	
採算	好転	0 (1)	7 (3)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	10 (7)	▲ 42.9 (▲38.8)
	不変	2 (3)	10 (16)	7 (7)	6 (6)	11 (14)	36 (46)	
	悪化	9 (7)	17 (15)	2 (2)	9 (9)	15 (12)	52 (45)	
資金繰り	好転	1 (1)	1 (4)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	2 (6)	▲ 17.3 (▲12.2)
	不変	10 (9)	25 (25)	9 (9)	12 (11)	21 (20)	77 (74)	
	悪化	0 (1)	8 (5)	1 (1)	4 (4)	6 (7)	19 (18)	
従業員	増加	1 (1)	2 (4)	0 (0)	2 (3)	3 (1)	8 (9)	▲ 13.3 (▲6.1)
	不変	7 (9)	25 (26)	8 (9)	13 (12)	16 (18)	69 (74)	
	減少	3 (1)	7 (4)	2 (1)	1 (1)	8 (8)	21 (15)	

※ 採算は経常利益で判断

※ () 内は来期

新規設備投資集計表

表 3

設備投資	今期	実施した ※1	25	来期	計画している ※2	25
	(事業所数)	実施していない	73	(事業所数)	計画していない	73

	※ 1	※ 2		※ 1	※ 2
1. 土地	2 件	5 件	5. 付帯施設	4 件	2 件
2. 工場建物	5 件	7 件	6. O A 機器	2 件	7 件
3. 生産設備	10 件	11 件	7. 福利厚生施設	0 件	0 件
4. 車両・運搬具	6 件	4 件	8. その他	1 件	2 件
			合計	30 件	38 件

複数回答可

景況の推移

表 4

～ 前 期 比 ～

	R3.7～9月	R3.10～12月	R4.1～3月	R4.4～6月	今 期 R4.7～9月
業 況	▲18.0	▲ 3.0	▲27.0	▲18.0	▲21.4
売 上	▲10.0	2.0	▲29.0	13.0	▲13.3
資金繰り	▲15.0	▲ 8.1	▲17.0	▲ 9.0	▲14.3

業種別集計表

表 5

～ 前 期 比 ～

	事業所数	11	34	10	16	27	98	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	2	6	0	1	1	10	▲ 21.4
	不 変	7	21	9	8	12	57	
	悪 化	2	7	1	7	14	31	
売 上	増 加	4	13	1	3	4	25	▲ 13.3
	不 変	4	12	6	4	9	35	
	減 少	3	9	3	9	14	38	
資 金 繰 り	好 転	1	1	0	0	1	3	▲ 14.3
	不 変	10	25	9	12	22	78	
	悪 化	0	8	1	4	4	17	

『直面している経営上の問題点』の集計表

表 6

(業種別上位3位)

業 種	順位	内 容		
		1 位	2 位	3 位
建設業		○材料価格の上昇	○従業員の確保難	○人件費の増加
製造業		○原材料価格の上昇	○人件費の増加	○原材料費・人件費以外の経費の増加
卸売業		○仕入単価の上昇	○需要の停滞	○人件費以外の経費の増加
小売業		○仕入単価の上昇	○消費者ニーズの変化への対応	○同業者の進出
サービス業		○利用者ニーズの変化への対応	○材料等仕入単価の上昇	○人件費の増加

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	27
材料の入手難	2
人件費の増加	6
材料費・人件費以外の経費の増加	0
請負単価の低下・上昇難	5
下請単価の上昇	1
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	14
熟練技術者の確保難	0
下請業者の確保難	0
官公需要の停滞	0
民間需要の停滞	5
その他	0
合 計	60

製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	3
製品ニーズの変化への対応	10
生産設備の不足・老朽化	12
生産設備の過剰	2
原材料価格の上昇	84
原材料の不足	10
人件費の増加	20
原材料費・人件費以外の経費の増加	18
製品(加工)単価の低下・上昇難	14
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	7
熟練技術者の確保難	1
需要の停滞	16
その他 (円安)	3
合 計	200

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
メーカーの進出による競争の激化	1
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	3
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	6
販売単価の低下・上昇難	3
仕入単価の上昇	15
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	2
需要の停滞	12
その他	0
合 計	45

小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	3
同業者の進出	11
購買力の他地域への流出	2
消費者ニーズの変化への対応	13
店舗の狭隘・老朽化	5
駐車場の確保難	2
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	6
人件費以外の経費の増加	5
販売単価の低下・上昇難	8
仕入単価の上昇	23
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	0
需要の停滞	7
その他 (ネット販売)	3
合 計	90

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

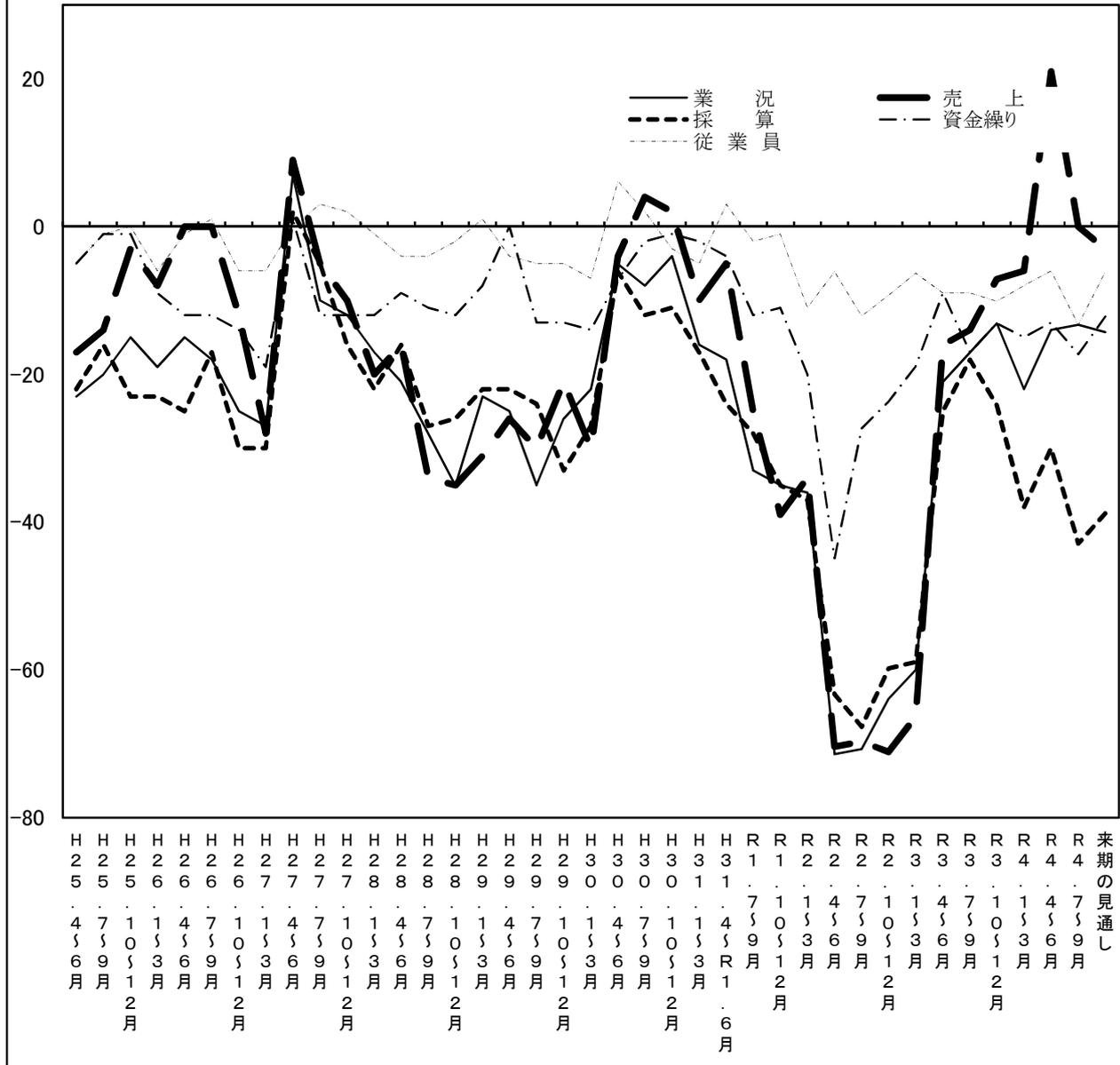
『直面している経営上の問題点』の集計表

サービス業

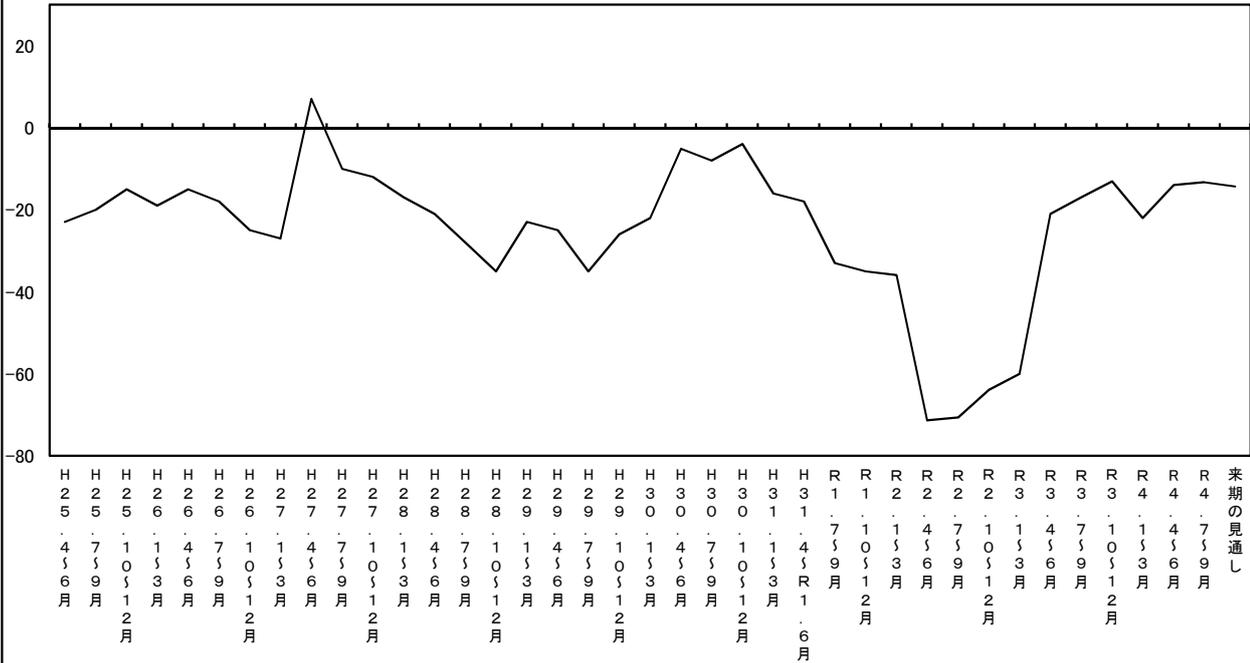
内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	9
利用者ニーズの変化への対応	25
店舗施設の狭隘・老朽化	6
人件費の増加	18
人件費以外の経費の増加	3
利用料金の低下・上昇難	13
材料等仕入単価の上昇	20
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	4
従業員の確保難	13
熟練技術者の確保難	8
需要の停滞	10
その他 (有給休暇の対応、コロナによる売上げ減少・コロナ融資の返済、コロナによる利用客の変化、働き方改善への対応)	8
合 計	140

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -



業 況 DI - 前年同期比 -



売 上 DI - 前年同期比 -

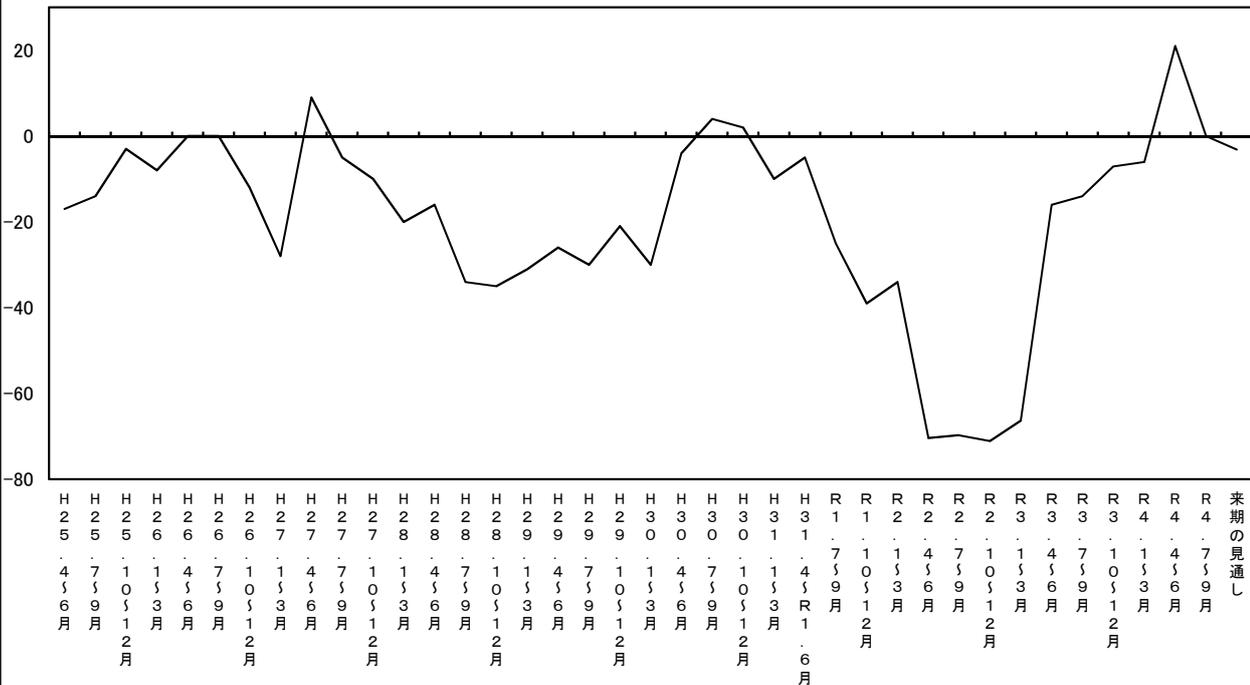


図 4

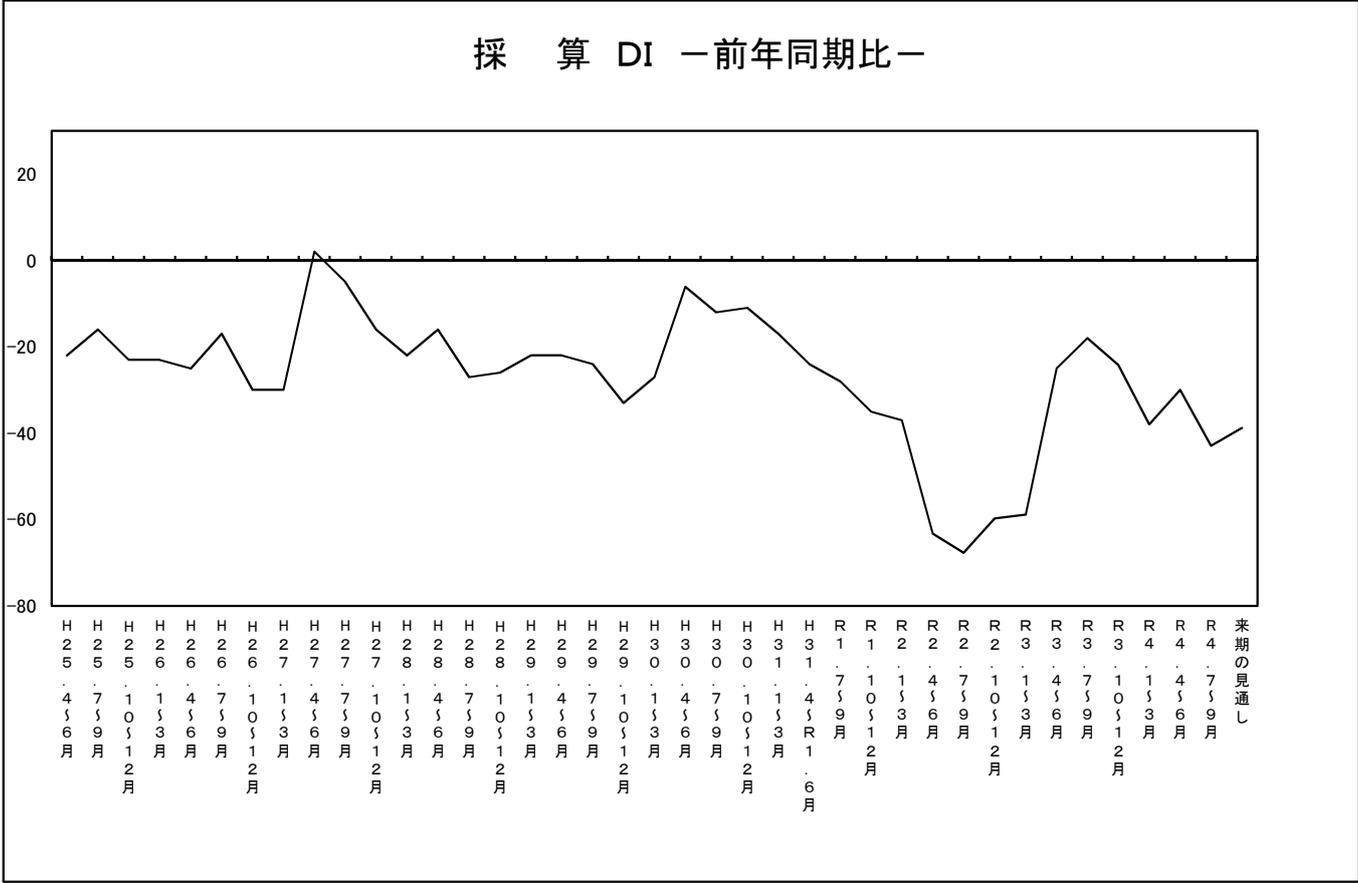
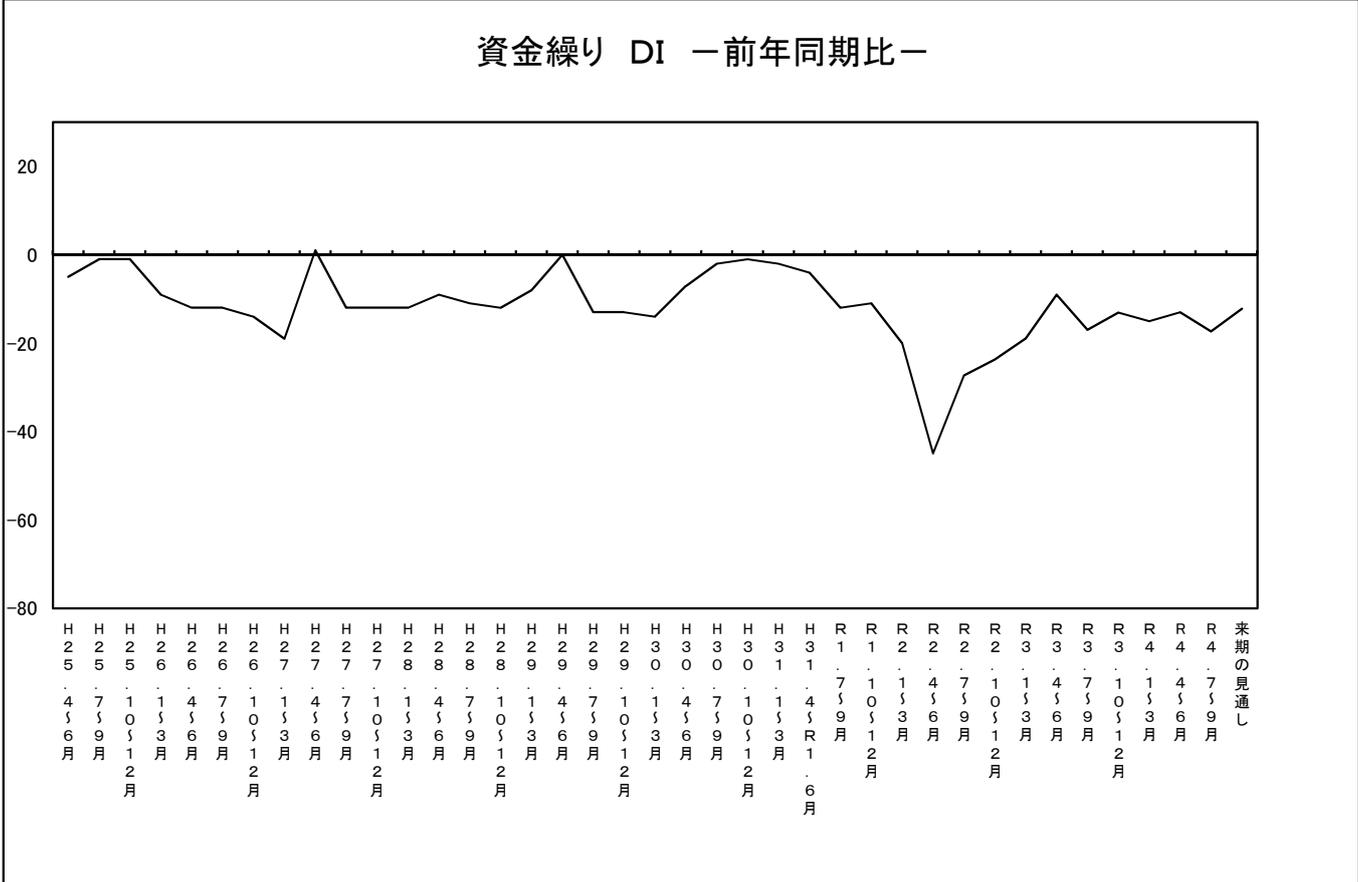
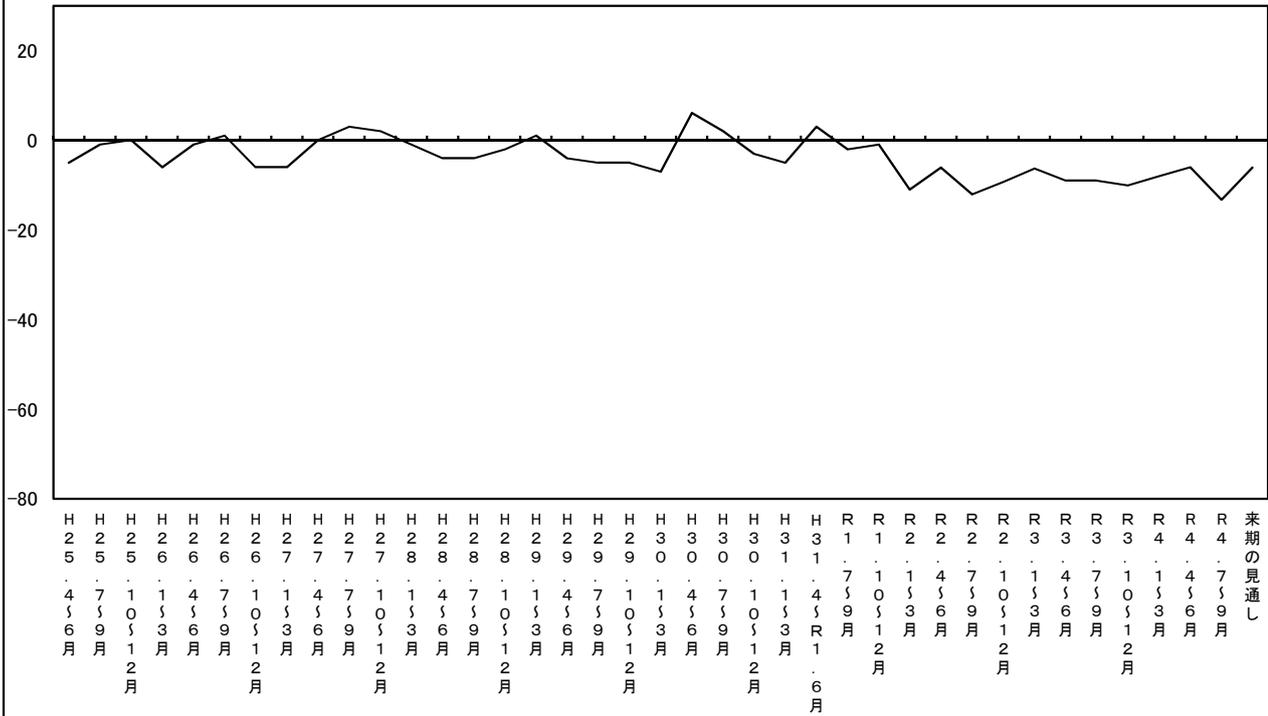


図 5



従業員 DI - 前年同期比 -





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp